

# MeMe

## Design School 2010

# 2|6

http://www.memedesign.org/

february saturday  
2010年 2月6日[土]

### 会場:青山ブックセンター本店

カルチャーサロン青山/18:30~20:00[開場18:00]

定員120名/入場無料/要予約

#### ◎お申し込み方法

下記をご記入の上、office@memedesign.orgまでメールをお送りください。FAX(03-5350-2688)でも受け付けております。件名《2010年度開講直前公開講座の申し込み》お名前/年齢/ご職業/メールアドレス/お電話番号(携帯電話可)/具体的にミームデザイン学校への入学を希望している[はい|いいえ]/講師・生徒へのご質問があればお書き添え下さい。

#### ◎お問い合わせ

ミームデザイン学校事務局 03-5350-2801

青山ブックセンター本店 03-5485-5511(10:00-22:00)

### パネリスト

#### 2009年度・2010年度講師陣+2009年度在校生

有山達也	グラフィックデザイナー
井口典夫	青山学院大学総合文化政策学部教授
勝井三雄	グラフィックデザイナー
鈴木一誌	グラフィックデザイナー
祖父江慎	グラフィックデザイナー
中垣信夫	グラフィックデザイナー
松田行正	グラフィックデザイナー
室賀清徳	『アイデア』編集長
山口信博	グラフィックデザイナー

#### 新潮社装幀室

※50音順・敬称略 ※出席される講師陣は、都合により変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。



ミームデザイン学校の  
これまでと、これから

## 2010年度 開講直前公開講座 講師たちとの対話

働きながらデザインを学ぶ「社会人のための学校」として2008年4月に設立した、デザイナー中垣信夫が代表を務めるミームデザイン学校。2009年度は「基礎コース」の他に、新たな試みとして「専門課程」「共通講座」「特別講座」を新設し、初年度以上に幅のあるカリキュラムで運営してまいりました。専門課程では、少人数の生徒達が質の高い課題制作に取り組み、ハイレベルな作品を制作。「共通講座」では、製本工場など、教室を離れて外部の施設で講義を行い、現場を実体験する授業を展開しています。また、この講座では卒業生も参加し、在校生との交流の場を設けることで、MeMeを中心にデザイナーのコミュニティが生まれており、この中から、社会に一石を投じることのできる優秀な人材を輩出できると確信しております。この度、2009-10年度の講師陣に2009年度の生徒達も交え、2010年度の入学希望者を対象とした公開講座を開催致します。2009年度講義に関するエピソードや、2010年度開講へ向けての講師の具体的なビジョンを聞くことができる絶好の機会です。皆様ふるってご参加下さい。

**ミームとは**  
文化の伝達を担う架空の遺伝子。この働きで人類は脳から脳へ思想や理論など非物質的文化を遺伝させていくというR・ドーキンスの造語。

#### ミームデザイン学校とは

ミームデザイン学校は、第一線のデザイナーたちと異分野のエキスパートが協力し合い、真の表現技法を追求するための知を研ぎ合おう学校です。週末を利用した週一回のカリキュラム構成で若手デザイナーたちが、働きながら最先端のデザイン理論や実技を習得できる新しい教育機関です。

#### ◎MeMe2010講義内容◎

##### 基礎課程 ○1講座 4回

六つの講座から、基礎的な技術の他、デザイナー的思考、科学的思考、文学的思考、社会的思考などを学んでいきます。各講座はデザイナーと他ジャンルの専門家が協力し合う、まったく新しい形式です。1講座4回の講義では、生徒が講師の助言、指導のもとに作品を制作し、プレゼンテーションを行うことを通じて、幅広い視野と基礎的な技術力や論理的思考力を養います。

##### 専門課程 ○1講座 6回

四つの講座から、タイポグラフィ、エディトリアル、ブックデザインを中心とした実践的な講座です。写真集や単行本、雑誌やムックなど、より具体的なテーマでデザインを学びます。講師は現役のデザイナーを中心に、写真家や編集者らをその都度特別講師として招聘します。生徒数は定員18名と少数制で、丁寧な授業展開と完成度の高い課題制作を目指します。研究課程は必ずしも基礎課程を修了していただく必要はありません。

##### 特別講座 ○3回を予定

基礎課程・専門課程受講生および、一般の方が受講できる講座です。講師はアジアの図像研究の第一人者として知られ、その革新的なブックデザイン、エディトリアルデザイン、タイポグラフィで国内だけでなく海外にも大きな影響を与えてきた杉浦康平。本講義では氏がこれまでの試みで蓄積した体系化してきたアジアデザインへの思索について、レクチャー(質疑)を行います。タイトルは「二即二(太極)多即一(多極)のデザイン」。※特別講座は、基礎課程・専門課程とは別途お申し込みが必要となります。

(各授業の詳細はホームページをご覧ください)

